



北海学園大学出版会



# 名誉と実務のあいだ

近世イングランド・ウェールズ政治社会の  
複合性とその変容

著者 仲丸英起

判型 A5 判

ページ数 360

製本 上製本

発行日 2023年12月25日

ISBN 978-4-910236-09-4 C3022

定価 5,390円(本体4,900円+税)

## 【内容紹介】

### 近世イングランドに「議会制統治モデル」の淵源を探る。

二〇一〇年代は日本を含む自由主義体制諸国で議会制度が機能不全に陥っていった一方で、寡頭支配体制を取る中国やロシアなどが国際社会におけるプレゼンスを高めていった。冷戦後の時代をティーンエイジャーとして日本で教育を受けるなかで育まれた、自由と民主主義は善であるという筆者の素朴な信念は、この間に揺さぶられ続けたとあってよい。議会制統治モデルとは、とどのつまり擬制にすぎず、封建制度下のシステムが国民国家の成立過程で国民全体の意志が表出される機構として読み替えられていただけなのではないか。「あとがき」より

本書は世界史上初めて一定領域における意思決定機関としての議会制度が形成されつつあった近世イングランドにおいて、地域の代表たる議員の役割がどう変化していったのかを丹念に検証することで、「議会制統治モデル」の淵源を解き明かしていく。そのダイナミックな論考は、多くの民主主義国家において議会政治が機能不全に陥っている世界の現状を理解し、改善していくための大きなヒントになるはずだ。

## 【著者紹介】

仲丸英起 (なかまる ひでき)

1978年神奈川県生まれ。2002年慶應義塾大学文学部卒業、2009年同大学大学院文学研究科史学専攻後期博士課程修了。博士(史学)。専門はイギリス近世史。現在、北海学園大学人文学部教授。主要業績に『名誉としての議席——近世イングランドの議会と統治構造』(慶應義塾大学出版会、2011年)、「議会」「儀礼」「反乱」(指昭博編『ヘンリ8世の迷宮——イギリスのルネサンス君主』昭和堂、2012年)、「全国議会創設期における各国の代表観」(『史潮』新84号、2018年)、「多文化主義社会における『顕著な普遍的価値』——カナダの世界文化遺産が抱える困難」(北海学園大学人文学部世界遺産研究班編『世界遺産とは何か——さまざまな「物語」を読み解く』マイナビ出版、2020年)等がある。